

第21回ゴミパイプライン協議会

会議名	:ゴミパイプライン協議会
開催日時	:2018年10月13日(土) 10:00~11:45
場所	:芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	:山口委員長、友田副委員長、春木委員、三浦委員、太田委員
市より	:森田部長、藪田課長、尾川係長(司会進行)、林課員
傍聴者	:5名

○市 定刻になりましたので、始めさせていただきたいと思います。第21回ゴミパイプライン協議会、今回の司会は尾川が務めさせていただきます。よろしくお願いします。

まず、資料の確認ですが、第21回ゴミパイプライン協議会の次第がありまして、配布資料として、資料1、パイプライン運転報告、資料2、西日本豪雨の報告、資料3、大雨によるパイプライン被害軽減対策について(案)、資料4、利用者起因トラブル「ゼロ」化運動とごみの資源化について、です。過不足ある方はいらっしゃいますでしょうか。

○利用者の会 私たちの委員の代表として三宅さんが今までおられたんですが、三宅さんがいろんな都合で、今回からラ・ヴェールⅡから中層を代表して、三浦委員が来られるようになりましたので、一言だけ済みません、自己紹介。

○利用者の会 初めてお目にかかって、おはようございます。

7月でしたか、初めて利用者の会に参加。今回、初めてラ・ヴェールⅡの副理事長になりまして、その1つの役として利用者の会に参加するという話だったので、初めて参加させていただいて、しばらくすると突然こっちを手伝わないかというお話がありまして。

私も年齢も相当いってますので、どうかと思ったんですが、今までほとんどごみの問題に関しては自分だけでやってきましたので、今回いろいろラ・ヴェール、特にあのあたりトラブルが多いところでして、ちょっと反省しながら。また実際に、いろいろごみの件に関してはバッカー車で回収していただいているときも、カラスの対策とかいろいろ、今まで余りにしなかったことを経験しましたので、それを踏まえて、またできるだけお手伝いさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○市 あと、委員の大永さんですが、所用で欠席と聞いております。

次第に沿って進めさせていただきます。

議題1、パイプライン運転報告について、資料1、環境施設課の林から説明させていただきます。

○市 環境施設課の林です。

資料1、パイプライン運転報告について報告させていただきます。こちらは月例報告になります。報告期間に関しましては、7月7日から9月30日までの記録になっております。

表面はシステム異常発報対応といたしまして、7月、8月、9月と載せています。御存じのとおり、7月からパイプラインの運転は止まっていたことが多かったのも、あまり今回はシステム的なトラブルは少ないです。特に、ほとんどが南芦屋浜地域のトラブルになっております。

多いのがドラムの呑込異常になります。こちらに関しましては、投入されたごみがドラムの奥に回転して移動する際に、ごみがひっかかったり、またレベル計に濡れたごみがつきますと、こういった呑込異常が発生します。

訂正が1点あります。件数、平成28年度、書いていないですが、平成28年度が59件、平成29年度が、これ間違いで49件です。30年度が9件になっております。

裏面は利用者からの連絡対応、こちらに市民の方から連絡があった対応と、その下に巡回及び定期点検等で発見された不具合を示しております。こちらはまとめて報告させていただきますと、この3カ月間で誤投入が多かったです。

上の利用者からの連絡対応につきましては、7月4日10時40分、ローカル、陽光町、投入番号が30118、誤投入。こちらは医薬品と書いてますが、薬とかを薬局でもらって、そのままビニール袋に入れておいて保管をしていたら、そのビニール袋ごとごみにしてしまったという件でした。こちらの件に関しましては、ドラムの中から検索をして発見し、本人に返却しております。

7月23日、ローカル、若葉町、投入番号は10029、誤投入。こちらは自転車の鍵で、こちら投入口にごみを捨ててに行った際に間違えて、持っていた鍵をそのまま入れてしまったと聞いております。

同様に、10月3日9時5分、ローカル、海洋町、投入番号は33128、誤投入。こちら同様に自宅の鍵で、捨てる際に間違えて捨ててしまったと聞いております。

下の巡回及び定期点検で発見された不具合が一番下です。9月22日土曜日、ローカル、浜風町、投入口3061、誤投入。こちらに関しましては、どうも御主人にごみ捨てをお願いした際に、間違えて違うものを頼んでしまったということで、捜索をしたんですが、発見はされておられません。

排水作業などの復旧作業等に時間を費やしておりましたので、巡回及び定期点検等に関しましては件数が少なくなっています。部品の交換としては、コインマスターやショックアブソーバー、投入口を閉められるときに、「がちゃん」と勢いよく閉まらないように向こう側にばねをつけておまして、そのばねを定期的に交換しております。

資料1のパイプライン運転報告については以上になります。

○市 資料1に関しまして、何かございますでしょうか。

○利用者の会 太田です。

呑込異常は結構多いですけども、原因は大体どういうことが考えられるわけ。

○市 今回多かったので、現場の方に確認したんですけども、原因の多くは、生ごみとか台所のごみとかが袋に入れずにそのまま捨てられた場合、レベル計にごみがひっついてしまって異常が出る場合や、また、段ボールとか発泡スチロールなどのごみがひっかかたりする場合にも起きる現象になります。

○利用者の会 経年劣化でもないわけ。

○市 それはないと思います。

○利用者の会 昔から。

○市 そうですね。今までの報告では、呑込異常は数回報告させていただいております。

○利用者の会 改善方法は何かあるわけ。

○市 今はちょっと。またこれも現場と話しまして、どういうふうに改善できるのか、こちらでできるようなことであれば改善いたしますし、また啓発等でできるものであれば利用者の会、ワーキング・グループ等でお話しさせていただいて、こういったことに協力できないかと1回提案させていただきます。

○利用者の会 この件ですが、私たちが今つくっているこれで、利用者の会でもマナーを追加せよという話もありましたので、その中に、まず生ごみとかは直接捨てるなど、必ず水を切って、水分を取って袋に入れて、きちっと袋を閉じて捨てましょうというお話を入れました。そういうものは、我々利用者としては徹底する必要があるかなと思いました。

今回、こういうポスターを投入口に張っているんですが、その中で私も個人的な興味もありまして、どんな人が捨てに来るか、ずっと見てるときもあります。自転車に乗って、横でじっと待ってるんです。その中でもめたのは、段ボールを、小さな段ボールですけど、ビールか何かの段ボールで、本人曰く、きちっと細かく切るからいいだろうと、何で細かく切ってそれを捨てるなど、おまえが言うのかと、かなりそこで議論になったんです。段ボールはごみじゃなくて資源ですと、そういう考え方をしてください。ちゃんと載ってるでしょうと言っても、なかなか言うことを聞かない。

やはりこれは継続的に説明会を開くなり、私自身思ったのは、車座になって、その地域と話すことを本当にやらないといかんなどというのが私のそのときの実感でした。だから、これは本当に継続的に、太田さんがおっしゃったようなことも絶対起こると思いますので、私自身ができることはどんどんやっていこうと今は思っています。

○利用者の会 どうも御苦労さまです。春木です、よろしくをお願いします。

今の延長になるかもわかりませんが、呑込異常で、例えば陽光町のヶ所で30038、7月28日。30038は毎月起きてるんですね、陽光町。30188も2回。

先ほど言われてましたけど、それ以外に機器、ドラム内等で何らかの損傷といひますか、例えば案内板がちょっとすり減ったりゆがんだりとか、そういうところは本当にないですか。点検したんですかね、中へ入って。どうも多いなという気がしています。もしそういうのであれば、今後、毎月発生していくと思うんです。呑込異常が非常に多いなという気がしています。

欄外で発生件数、先ほど報告してもらいましたが、28年が59件、29年が49件、30年が9件、物すごく減ったなど。

○市 これは芦屋浜で運転してないんで。

○利用者の会 2カ月、運転してない。

○市 トラブルが少ないというか、それ自身がトラブルですけど、そういうトラブルとしてはないというだけです。

○利用者の会 そういうことで2カ月やってない。

○市 はい。

○利用者の会 それにしても非常に少なくなったなという気がします。その辺のドラム、本当にそうなのかなと、単なるレベル計に、生ごみやらひっかかりやすいものを入れたからやという以外にないかなというのを、しっかり点検していただきたいなという

気がしています。

裏側に行って、コインマスターの交換ですけど、これは今、巡回及び定期点検で、最近は集中的に点検して、不具合があったら交換するようなことを最近はやられているんですか。潮見南が何かあったようですけど。うちの南浜町も、前からちょっとひっかかりで言うてたんですけど、なかなか直らんし、連絡して交換してもうたんですが、それをちょっと感じた次第です。

あと、巡回及び定期点検で発見された不具合などの8月22日、今度、陽光町でこれが起きたんです。バケットが閉まらん。奥に座布団が入ってたから閉まらん。そやけど、信号はまだ青ランプで通り抜けできますよという感じですね。

思ったんですけど、今、住民起因トラブルの極小化で取り組んでいるわけですけど、こういう報告してもらうときには、住民起因トラブルを二重丸つけるとか、何かやっというていただいたら、今後集計するとき等にも非常に役に立つかなという気がしました。

以上です。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

細かい話で申しわけありません。今、私たちがいただいた報告書は、非常に今後、分析の希望的なデータとなりますので大切ですけども、今からお話しされる2に関しますが、これは例の若葉町のカードの問題がありましたよね、カードが腐食して、通信関係のトラブル。ああいうのは入れられないですか。

○市 それは資料2で説明します。

○利用者の会 いや、説明は確かにそれで問題ないと思いますけど、全てのトラブルは、ここでこんなトラブルが起きているというのをデータとして載せないと、後で分析するときにつじつまが合わないといえますか、ちょっとこのデータおかしい、これないなという話なので、基本的には全てのデータはこの場所で、こういう形で報告するのが基本だと思います。

ですから、これさえ見ればどんなトラブルが起きているのか全てわかるのが基本的な目的ですから、私の要望としてはそういうのも全て含んでいただきたいと思っています。どうでしょうか。

○市 わかりました。そういうトラブルについても、これから入れるような形で考えていきたいと思っています。

それでは、議題2、西日本豪雨の報告で、御迷惑をおかけしている2カ月ぐらいの停止について、林から説明させていただきます。

○市 資料2、西日本豪雨、7月5日、6日に起きました、豪雨からの停止について報告させていただきます。

目次を入れさせてもらって、大きく概要と経緯と流れ。また、復旧時期のそれぞれの地域、いつ復旧したのかということと、今回穴あきの補修が3件ありましたので、その報告。先ほど山口さんから言われました、若葉町の一部地域に対しての停止について、これについて報告させていただきます。

概要をごらんください。

右手の写真は、前回の7月7日に報告させてもらった地図と写真を載せています。こちらが、ちょうど環境処理センターから出た前の道路の下にあります専用溝での輸送管内の写真になります。輸送管の根元のところで、こんなに水が入って来ているような状態になっております。

概要につきましては、運転停止期間としては7月5日から9月28日まで、86日間。こちらに関しては、全域というより、どこか一部でとまっていた地域も含めまして、完全に復旧するまでこの期間かかっております。

2番は、穴あき補修ヶ所は3ヶ所。3ヶ所は後ほど説明させていただきます。

作業内容としましては、点検口や投入口で水が入っているかの調査と、また輸送管内や点検口地下ピットの排水や洗浄作業を行っております。それと、信号ケーブルの調査作業を行いました。

4番、作業費用といたしましては、輸送管内の洗浄排水やカメラ調査等に関しましては、作業日数が20日間、約820万円かかっております。9月の分に関しては、今、集計中でして、今回は7月と8月の分で約820万円になっております。

臨時の収集に関しましては、7月7日から臨時の車収集を行っておりまして、9月28日まで行いまして、日曜日は除いて、約72日間。約410万円かかっております。

続きまして、その下、西日本豪雨の流れといたしましては、7月5日から6日まで西日本豪雨が発生していきまして、パイプラインは全域停止しております。

7月7日に前回の協議会がありまして、それから調査・排水作業を行っております。基本的には、こちらは環境処理センターから近い部分から順番に点検口等を開けまして、水が入っているかどうか確認等を行っております。

7月20日は、穴あき箇所①番の補修。後ほど地図等であわせて報告させていただきます。

7月29日、台風12号が近畿地方を直撃しました。

8月2日、潮見町、緑町、若葉町一部、高浜町一部、浜風町一部が復旧しました。臨時車収集を終了しパイプラインのみでの収集になった時点で、復旧という形にしております。

8月6日、高浜町、浜風町一部について復旧。

8月10日、穴あき箇所②番、補修完了。

8月13日、浜風町復旧。

8月23日、台風20号が近畿地方を直撃しました。

8月30日、穴あき箇所③番、補修完了。

8月31日、補修完了に伴いまして、新浜町復旧。

9月4日、台風21号がまた近畿地方を直撃いたしました。その後、若葉町の一部地域の信号関係が復旧しましたので、9月28日に若葉町が復旧。これに伴いまして、パイプラインは全域通常運転を開始いたしました。

また、台風24号も直撃しました。それは、また別で報告させていただきます。

今からこの地図の説明をさせていただきます。その前に先日のワーキング・グループで地図の読み方というか、芦屋浜のパイプライン、輸送管がどういうふうに埋設されているか説明させていただきましたので、それもあわせて説明させていただきます。

こちらが、芦屋浜の浜風町、新浜町、高浜町、若葉町、緑町、潮見町の地図になります。輸送管は大きく2つの系統ですね、1系、2系が埋設されておりまして、こちらが1系、こちらが2系になっております。例えば、新浜町の穴あきがあつて水が入ってきた場合でも、こちらの水がこっちに行くことはないです。基本的に輸送管はセンターから2つの管がありまして、それぞれ1系と2系があります。1系に関しましては100系統、300系統のKライン、Gライン、400系統、500系統と分かれています。2系に関しては、600系統、700系統、800系統、900系統、1,000系統、1,100系統、1,200系統と分かれています。さらに分類すると、こんなふうになっています。それでグループという形をつくっております。

さらに1系だけ取り抜いて説明させていただきますと、このような形になっています。環境処理センターから外、北側に1回出まして、バス通りで宮川大橋まで行ってます。

これは、皆さん（委員の方）がよく言われるメイン管になっています。メイン管から、丸印が遮断弁になりまして、それぞれに系統に入るところの根元には弁がありまして、例えば100系統を運転するときは、この弁が開きまして運転をします。残りの弁は閉めています。余計な空気を吸わないためです。また、それぞれ300系Kラインときは、この弁が開いて、ほかの弁が閉じています。300系に関しては1つしか弁がございません。

次、これが2系です。2系も同様に、こちらは1系と同様に並行して宮川大橋まで輸送管が埋設されています。こちらは600系統、700系統、800系統、900系統、1,000系統、1,100系統、1,200系統がございまして、同様にそれぞれの根元に遮断弁がついています。ごみの流れは左から右に行くような流れになっております。

これが輸送管の埋設の説明です。話は戻りまして、復旧はどれぐらいの地域で、どれぐらいの時期だったのかを説明させていただきます。

まず、7月5日、6日で全域止まりました。その後、近くからどんどん調査を行い、7月17日、穴あき箇所①番発見。7月13日、穴あき箇所②番発見。この2カ所の穴が発見されたんですが、こちら管はメイン管になります。メイン管はすぐに直さないといけなかったのが優先的に水中ボンドで7月20日、穴あき箇所①番を補修しております。これで1系のメイン管の補修はできております。

②番はメイン管から離れた枝管だったので、とりあえず上流側の調査等を優先させていただきます。

2系のメイン管に関しましては、宮川大橋までは問題ありませんでしたので、先に緑町、潮見町、若葉町の北側と南側、また、先ほど穴あきがあった部分の浜風町地域と、後ほど説明させていただく若葉町の一部の地域を除きまして、8月2日に復旧しております。

続きまして、8月6日に、1系の調査が終わりましたので、浜風町、高浜町に関しては復旧しております。

先ほど御説明させていただきました穴あき箇所②番に関しましては、8月10日に補修をしております。補修の写真とかは後ほど説明いたしますが、穴が大きく、対応等どうするか検討する必要があり時間がかかっておりました。10日に補修が終わりまして、8月13日にこちらの地域は復旧しております。

8月21日、浜風小学校のグラウンドの北側で穴あき③番が発見されましたので、8月30日に穴あきの補修が終わりまして、翌日、8月31日に復旧とさせていただきます。

ます。

最後に9月28日、若葉町の一部を復旧しております。

先ほど説明させていただきました穴あき箇所3カ所について、詳しく説明させていただきます。

穴あき箇所①番については1系のメイン管、②番に関しては600系統の枝管の部分、300系統に関しては新浜町に行く浜風小学校の北側、緑道の部分になります。

①番に関して、以前の台風で1回穴あき補修している部分ですが、丸印の部分、下に矢印をつけていますが、こちらの部分から水が浸入しておりまして、メイン管が運転できない状態になっておりました。これに関しては、補修時期は7月20日。この穴あきの対応といたしましては、水中ボンドで補修済みです。ここの部分に関しては来年度に本管の交換工事を行う予定でして、今、その管の上にある水道管とか電柱の移設を各所管に依頼して、本年度実施してもらおう予定にしております。それが終われば来年度、交換工事を行う予定にしております。

②番に関しては、ちょっと時間がかかった部分ですが、赤丸をごらんください。拡大すると右の写真になります。こちらは信号線といいまして、センターから各投入口に信号を送っているものになります。赤ランプの信号を投入口からセンターに送ったり、運転してくださいという信号をセンターから各投入口に送る信号線となっております。この信号線が露出していたため、これ以上運転をしてしまうと信号線を傷つけてしまって、信号がそれ以降いなくなってしまうことが懸念されましたので、ここに関しましては左手の下、耐摩耗鋼で補修をしております。今後の対応といたしましては、耐摩耗鋼で補修済みですので、現在は補修完了という形にさせていただいております。

最後の③番です。赤丸をごらんください。拡大図が右手になっておりまして、こちらは信号線が少し見えているような状態でしたので、こちらも同様に耐摩耗鋼で補修をしております。補修につきましては8月30日。今後の対応といたしましては、耐摩耗鋼で現在補修をしておりますので補修完了としています。

5番、若葉町に関しまして、すごく長い期間、約3ヶ月間ぐらい運転停止してしましまして、それについて報告させていただきます。

輸送管と一緒に信号線は埋設されております。その信号で不具合が起きまして、宮川大橋を渡ったところまでは信号は行っていたんですが、それ以降の若葉5の5号棟、若葉6号棟の投入口で、8029、8039、8049、8059が運転できていない状態でした。こ

れに関しましては、センターへの信号が来なかったり、センターから送っても信号が行かない状態になっております。停止内容は、センターから投入口への信号が不通になっていた状態になりました。

復旧対応といたしましては、ここまでは信号が行っておりましたので、ここからずっと、8029間の導通確認とか制御盤の調査をしていたんですが、なかなかそれでも復旧せず、これに関しては外部の業者を呼びまして、こちら全棟導通等も確認して、問題ありませんでしたので、1個1個問題を潰すような形で、最後、8059の丸印の投入口の基板を確認いたしますと湿気等で腐食をしております、この基板を交換することで復旧をしました。それで、8月28日にこちら全域で復旧を完了しております。

昨日まで作業をやっていたので資料はありませんが、現在の運転停止について報告をさせていただきます。台風24号以降の件についてです。

先週あたりから、新浜町、浜風町で運転を停止しております、そちらについての報告になります。

穴あきはこちら2ヶ所ございまして、浜風小学校の東側の緑道の部分で1ヶ所、また東浜公園の投入口で3032のちょっと南に行ったところにある合流管、こちらは3032と3021の合流管部分に穴あきがありまして、昨日補修は完了しております。

浜風小学校東側の緑道に関しましては、来年度に補修を予定しております、今年度は施工範囲等を調べるため試掘調査を行っておりました。試掘した際の状況ですが、こちらの赤丸、拡大するとこれです。輸送管の下の部分、10センチぐらいの幅で、5メートルの亀裂がありました。写真でもわかりやすいように私の手で大体の長さをあらわしております。このままでは運転できない状態でしたので、急遽、耐摩耗鋼を14枚張りまして、今、運転できております。

対応といたしましては、穴あき補修はこの状態で仮補修として、来年度に補修するため、今、準備を進めております。

次に、もう一ヶ所の穴あきの部分で、これは昨日終わった部分です。丸印の部分拡大するとこの部位になります。少し土が見えているのですが、これも雨が降るとここから水が入り、運転すると湿気たごみが来るような状態でしたので、左下の写真、水中ボンドで補修をしまして、これが拡大した部分。仮補修をして、水中ボンドが固まる時間等もありましたので、きのうは試運転できていないですけども、この後、協議会が終わってから現場に行きまして、運転状況を確認する予定にしております。

最後、今年度予定しておりました穴あき補修工事に関して、御説明させていただきます。

既に終わっている部分もあるんですが、来週から施工1、バス通りの補修を行う予定としております。緑第2住宅に関しましても2ヶ所ございまして、工事の時期ですが、11月5日から11月22日までを予定しております。雨等でずれる可能性もございまして、大体これぐらいの時期で調整をしております。また、うちの工事担当から、各自治会には御案内、ビラを作成するために御連絡等はさせていただいております。

5番、潮見町に関しましても、大体12月から12月21日までで予定しております。

いろいろ多くなつたんですが、資料2の報告は以上でございます。

○市 それでは資料2、西日本豪雨の報告について何かございますでしょうか。

○利用者の会 太田です。

若葉町の信号ケーブルの件ですが、このごろは台風等による、雨による塩害が原因しているのかどうかかわからないですが、よく電線、電柱のがいしが塩害でもってショートして、停電したとか、生け垣の上に、これが塩害で枯れてしまったとか、電子的なものも多々発生しているようですけども、原因に関しては基板の不良だけですけども、経年劣化なのか、塩害という部分がかぶされているのかどうかをお聞きしたいです。

○市 尾川です。

ワーキング・グループでは、皆さんに実際の基板を見てもらったんです。この基板につきましては、地下にセットされています。マンホールの中にありますので、塩害は、直接は多分関係ないとは思いますが。ただ、湿気は影響はしているのかなというのがあります。これは地下の中の制御盤、その中に入っている基板になりますので、塩害は関係ないとは思いますが、湿気は影響されてるような感じです。

○傍聴者 傍聴者の野村です。

今の件、説明すると、パワーサプライの基板ですか。

○市 そうです。

○傍聴者 パワーサプライの基板であれば、この写真だけでしかわからないから詳しくはわからないけど、30年ぐらいたつとるとか、非常に長いと思うんです。基板でも30年たつたら、別に地下であろうが地上であろうが、もう交換時期というか、これはそういうものだと思います。

ただ、この問題で、私、グループAの委員でありながら、参加しなかったときにお話

になってるんですが、市のほうとしてというか、メンテナンスやっておられる方、3カ月かかったのは、ちょっと恥ずかしいと思ってもらわないといけないん違うかと。

というのは、パワーサプライの基板は、制御しているものはほとんど、例えば一番いい例でエレベーターも、ほとんどパワーサプライ、この基板がついています。というのはどういうことかという、100ボルトの電気が入ってきてるんですけど、制御しているものは12ボルトとか24ボルトとか。それも交流と直流があって、直流の電圧を入れてるために、電気を変えるためにこういうのがついているんです。それがわからないで3カ月とまったというのは。

考えてください。エレベーター、ちょっと故障した、故障して3カ月とまったといったら。ふたあけたら、パワーサプライの基板が悪かった。例えばこの基板は非常に特殊な基板で、この基板をつくるのに時間がかかったから3カ月間止まったんだっただけでわかるんです。そうじゃなくて、恐らくこの基板はスペアを何ぼか持ってるはずなんです。それがわからなかったことについて、メンテナンスをやってる人間、みんな恥ずかしいと思います。

私も機械の一部、昔やってたことがあるので、今、社員がやっ取るわけですけど、これで3カ月かかったというたら、うちのお客さん全部飛びます。絶対、メンテナンス、保全を変えんとしようがないです。

逆に言うと、今、電気関係の保全をやってる人間は、今、市にいないということになると思うんです。それであれば、外部業者が必要やったら外部業者を誰か決めて頼まないで、これ同じ問題を起こすと、もう前にやった経験がある人は、これどういふもんやとわかるので、そこについて当たっていくんです。

尾川さん、この辺、電気をおやりになっているからおわかりになると思いますけど、これちょっとひどいですよ。これで3カ月は。僕、線がどうのこうのと聞いていたから。でも、パワーサプライだけのことであれば。

今後この問題は、この基板に対して言うと、今後何回か起きる。恐らくこれ限界やと思うので、ほかの箇所でも起きると思います。逆にこの基板、どれぐらいのスペアを持っておられるのかわからないですけど、基板つくるといっても、これつくられへんと思うんです、新たに。だから、今の基板を、しようがないので修理して持っとかんと、ようけあるのであれば必要ないでしょうけど、二、三枚しかないとかであれば、修理して持っておかないと、また起きたときに大変なことになると思います。その辺

を今後検討いただきたいと思います。

○市 確かに御迷惑をおかけして、申しわけございませんでした。

基板に関しましては予備品という形で持っています。ただ、製造中止になっていまして、ある程度は持っているんですが。もちろん言われるように、かなりの年数たっていますので、不具合が起きて現場に行ってる4名、その4名で発見次第、交換をやっています。

ただ、これに関しましては、800と8029の間で信号が来てないということで、8029の基板を変えたり、8039の基板を変えたりという形で対応しております。結果論としては8059の基板が悪かったんですが、8029、8039に関しましては基板を疑って変えています。それに関しまして、それでも復旧しなかったということで、信号線ではないかというところに行き着いて、あと信号線に関しましても導通があった。それからどンドン下へ下がっていったら、8059で基板自身があかんようになっている状況を発見して、それを交換したら徐々に復旧していったという形になります。

もちろん対応しているのは、その4名、2人掛ける2組の形でやっていますので、かなり対応が遅くなっています。今回のことも踏まえまして、これからこの基板に関しましても、一番末端まで、最後まで調べてやるような形で考えてはおります。

○傍聴者 個別で、後でまたお話しせんといかんと思いますけども、はっきり言って、電気図面と照らし合わせてみたら、29を変えてあかんかったら、39、この4つは1つのグループとしてつながるとるから、どいつがアウトになっても、その4つがとまる。こういう形の図面、恐らく電気図面で見たら、そこも老朽になってひっかかってくるから、そういうことがわかると思うんです。上があかんかったら順番に変えて。

それやるのに3カ月ですか、尾川さん、ちょっと通らないです。3カ月ですよ。これ1週間やったらわかります。でも、3カ月は、そんなことで3カ月は電気屋さん違います、これは。そう思います。

きついですけど、春木さんなんか工場をやっておられて、こんなんでも3カ月とまったらね。

○利用者の会 言おう思ってるやつを、あんまり先に。

○傍聴者 3カ月とまったら、ほんまに全部飛んでしまうような話です。だからもっとシリアスに問題を捉えないと、これはあかん。はっきり言って、電気のメンテナンスに関しては、高砂の4名か5名かでやっておられる方で、ちょっと難しいんじゃない

ですか。その専門家がいらっしゃらなかつたら、これわからないから。それだけです。

○市 高砂に関しましても、今回の件に関しましてはいろいろ話をしまして、もう少し対応について迅速にできたんじゃないかというのは、市からも言わせていただいております。

結果論ですが、輸送管内にいろんな箇所で水が入ったりとか、台風がどんどん来て復旧作業に追われていたという状況ですが、こういう状況になって御迷惑をおかけしたことは確かに事実でありますので、これは申しわけないと思っております。

○利用者の会 春木です。

環境施設課も市の行政の中での組織、その辺の仕組みやとかその辺を含めて、非常に一般の民間企業と違って、そういう組織になってない部分もあって、非常に厳しい状況であることもよく理解しています。

やっぱり民間企業であれば、去年も1カ月ほどとまったわけです。そんなに止まると工場アウトです。それなりに研究、調べて、原因については早急にやります。ところが、その時点でやると決めていた5カ所、これは公募かけて業者の費用も決まっていた中で、台風がこんな状況になるまで処置してないです。この辺が、非常に民間からしたら腹立たしいところです。こんな状態ではあかんということです。

こういう状況が起きたら、やっぱり現状把握、対策立案、対策の実施、効果の把握とか、その辺をぐるぐる回していくことが大事です。今回2カ月以上になったら、何が原因やったか、悪いところを、改善すべき点は何やったかを、もっと明確に打ち出してほしいなという気が物すごいです。

私、もう一つ気になってるのが、録音をとめたほうがいいと思うけど。今、パブリックコメントが出て、まとめてます。今度は11月になったら、芦屋浜・南芦屋浜まちづくり調査特別委員会が控えています。ちょうど間が悪く、この2カ月以上もとまってしまって、昨年以上の損害が出るわけです。その辺、議員からしたら、非常に大きな反論もあるわけです。これ、ちょっと止めといてもうたらええと思うんやけど。

そういうことも含めて、この協議会は利用者の会と行政と一緒にいろいろな改善、コストダウンも含めてやっていってることも、やっぱり議員の人たちも評価してくれてる人もおられるわけです。そんな中で、この協議会を、今回の協議会はどういう位置づけでやるかを考えることも大事やと思うんです。そしたら、去年の反省を踏まえて、今回の反省を踏まえて、これやっていきますよ、これから大丈夫ですよ、任せと

いてくださいという姿勢も示してほしいなと思います。3月

今も電源基板の話が出ていましたけど、これが3ヶ月もかかったというたら、何してるねんとなります。今回の結果を踏まえて、今後はこうしますということを、ここで前面に打ち出して報告して、それを議事録に載せることも非常に大事なことやと思うんです。

だから、この基板についても、今いろんな話が出てましたけど、現状はどないなっとったんやと。そこまで行かな、シーケンスというか、普通やったらそれ出してきて、ぱっと見て、その辺でぼんとやるわけですよ、民間やったら。そのこともできんかって、3ヶ月もかかったら、そらほかにいっぱいいっぱい、係長は焼却炉も見てますし、もういっぱい仕事が詰まったんやと思いますけど。

その辺は、高砂熱学ね、そこのオペレーター、責任者でも呼んで、そういうことを話し合っ、今後こうしようかとやるべきやと思う。高砂熱学は、そんなこと知らん言うたら恥ずかしいです、そんなもん。だから、その辺をしっかりお願いします。

輸送管についても、今回、ワーキングAでも話し合いましたけど、いっぱい不具合出てきて、それで5ヶ所やる言うとして、いまだにやってないということで、新たに出てきて。まだ輸送管、穴あいてるところがあるみたいやと聞いてますし、この辺は利用者の会、技術屋さんもおられますので、ぜひここはやってほしいなという気がします。

また来年、梅雨以降、また同じことを繰り返すわけにはいきませんし、この後の被害極小化ですか、その辺もしっかりやってもらって、できる限り損失を少なくするという事でやってほしいと思います。せっかく、みんなで力を合わせて、コストダウンしてやってることが、全部そういうところで食われてしまうのは、本当に、非常に腹立たしい気がしてます。

何も環境施設課だけに言うてるだけではありません。私ら利用者の会の技術屋さんがいっぱいおられるんで、一緒になってやっていこうとこれまでやってきてますので、ぜひ、ワーキングAの中で徹底した議論をしていただいて、とにかく無駄な損失を出さないように、輸送管も現状このような状況ですから、やっぱりコストダウンしたやつは全部輸送管に充てるようなつもりで。

あと、まだ言いたいことありますけど、後でちょっと言わせてもらいます。

以上です。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

このことに関しては、恐らくこの場で議論しても永遠にずっと続くので、11月28日、ワーキング・グループAがありますので、その中でここに焦点を絞って、具体的な対策までつくっていかうと考えています。

今回、私が感想を言いますと、いろんな問題があったと思います。ですから、それをどうするのが今後問題なので、今回の場合は本当に状況が悪くて、高砂熱学の4名の方は、一方において漏水の問題で作業があるわけです。この問題と電気の問題と2つ同時にここでやっていますので、非常に大変だったのは私もよくわかっています。

その辺も今後、この問題をどうするか、やっぱり技術者の方を含めてワーキング・グループでまとめていく。来年の豪雨のときには迅速に対応していく。もしこういう問題があるということであれば、それはそれでまたワーキング・グループから提案して、市にも提案していただくという形で今後動いていったらどうでしょうか。

○傍聴者 傍聴者の浅田です。

この問題、ワーキングのときも言わせていただいたんですが、昭和50年代半ばの技術ですよ。これで作ったものをそのまま、今、メンテナンスされている。大変な目をされていると思います。正直言って、平成の技術でこれをリニューアルすれば、非常に簡単に異常が見つかって、なおかつ、今の連携してるところについても診断がすぐできることがあります。100ヶ所近くあるわけです、ローカルが。これを、いわゆる現在の安価な電気器具によって更新すると、その部分だけ、基板の担当している部分だけ。それを安価な金額でリニューアルすると、問題点の発見も見つけやすくなるし、非常にメンテが楽になる。

本体に立派なDCS、1億円もかけたDCSあるわけですから、遠隔で見ることでできるんです。ですから、いろんなやり方があるので、それぞれ誰に相談したら何ができるかとか、そういうものをネットワーク組んだ上で、人間のネットワークを組んだ上で、もう少し迅速に対応できる手を打てばどうかなと思います。

私自身、今、機械屋ですけど、もともと燃焼をやっていた機械屋が、電気関係の設備も全部、今見てるんです。ただ、こういうふうにしたい、こういうふうにするためにはどうしたらいいのかをよく知ってる人に問い合わせをして、ある程度の条件を満たすようにしてもらってる形がありますので、自分たちが全部やる必要はないので、誰に何をやらすか、しっかりと業務範囲を仕分けして、誰にどれを担当してもらうか

をきっちり決めて相談すると、それが大事だと思うんです。

1人で必死になって皆さん走り回ってるけど、もうちょっと広く知恵を集めてきて、上手にそれを使って、素早く処理をする姿勢が大事だと思います。ですから最新の技術を使って、上手に人のネットワークを使ってやるような手を、何か課として、部として設計していただくと、もうちょっとうまくいくのかなと。

もう一つ言いますと、高砂熱学さんに、できれば電気が少しでもわかる方を入れるような発注仕様、来年の契約をするときに、電気関係のこういったことがわかる人に入ってほしいという条件をつけることはできるかもしれない。その辺も含めて、もう少しやり方をうまく、迅速にできる方法を考えたらいかがでしょうかということが私の意見でした。

○利用者の会 上手に年寄り使うてください。

○市 ありがとうございます。

続きまして次第3、ワーキング・グループAの取り組み（経過報告）で資料3になります。藪田から説明させていただきます。

○市 芦屋市の藪田です。

先ほどの若葉町のこともそうですが、我々も反省点ですとか、学ばなあかん点多々ありましたので、それを踏まえて、次につなげていきたいなと思っております。

前回の協議会が7月7日土曜日です。その後、ワーキング・グループAで取り組みを続けておりました。その経過報告を私からさせていただきます。

ワーキング・グループは、7月25日、8月29日、10月3日、本日まで3回行っております。内容につきましては、パイプラインの運用期間内の長期活動計画ですとか、7月5日の西日本豪雨の状況把握と対策を話し合っております。それと他都市の代替案の現地視察に行っていたりしてございまして、その紹介ですとか、CO₂の排出とか経費の削減についての活動の評価の仕方を話し合っており、取り組んでいます。

本日は、その中の7月5日の西日本豪雨の被害を受けて、ワーキング・グループでいろいろ考えた対策を説明させていただきたいと思っております。

資料3、タイトルが「大雨によるパイプライン被害軽減対策について」。今まだ現状、案という形で運用しております。

上から読み上げさせていただきます。近年、大雨によるパイプライン運転停止が発生しております。これは、昭和54年からの長年の使用により輸送管が腐食や摩耗により穴

があき、大雨時に大量の水が浸入しているためです。

そのことにより、まず1つ目、輸送管内に大量の水が入ってしまうと運転ができなくなり、排水作業等の復旧に非常に時間がかかってしまいます。また、水が入った状態で早朝の無人自動運転がかかった場合、輸送管内に浸入した水が広範囲に広がり、また、ごみと水がまざってしまい被害が拡大し、復旧作業の時間がさらにかかってしまうことがございました。

輸送管の穴あきにつきましては順次補修していておりますが、次々と新たな穴が発見されていまして、完全にこれを防ぐことは困難な状況に今現状なっております。

今、何ができるかを考えますと、少しでも被害を小さく抑え、水が入ったときには復旧時間を短縮するために、利用者の会と我々市でのワーキング・グループで話し合っ、以下の対策を考えて運用することにしました。

その被害軽減対策ですが、暫定ということで、まず1つ目、台風など大雨等が予想される場合、次の日の早朝の定時運転、芦屋浜の無人での自動の定時運転は止めておきます。中止します。

雨がおさまってから、各点検口などから水が入ったかどうかの確認を行って、問題がなければ順次運転を再開していきます。この点検、確認に、状況にもよりますが、マンホールや点検口を開けたりとちょっと時間かかりまして、運転再開までに1日とか2日と止まってしまうかもしれません。

水が浸入している地区につきましては、運転をせずに、排水作業をした後に運転を再開するという対策を考えました。

投入口が青ランプのときは投入できます。それと、大雨によって定時運転を中止しようとする場合は、今、運用しています利用者の会のメール連絡網、こちらでお知らせするという形にしております。これは暫定的な運用でございまして、運用の中で問題等が出ますと適宜変更していく場合がございます。

これを行うことによって効果としては、大量の水とパイプライン内のごみがまざり合うことがなく、排水作業が短縮でき、復旧時間を短くすることができると考えています。

2つ目、大雨の後、パイプライン内にごみがないために、点検作業の時間が短縮できるのではないかと考えています。

これを運用していきますと、大雨の次の日の朝、定時運転を止めております、芦屋浜

だけです。とめておりますので、少し御利用をしていただいております皆様には御不便をおかけすることになるかと思いますが、御理解と御協力をお願いしたいと思っております。

この対策、8月29日より運用しておりまして、効果について、実際まだデータがそんなに積み上がっておりませんので、これでいいのか悪いのかが、まだ判断できていないのですが、先日の台風24号ですか、10月の頭ぐらいに来ました。あのときの大雨の影響で、輸送管内に水が入っていたんです。先ほども林から説明させていただいたんですが。そのときもこの対応をとっておりまして、浜風町については水の浸入が確認されたので運転をせずに、排水作業をしてから、穴あきが見つかって、穴あきを直してから運転するというので、この対策をとっているために被害が広がらずに済んだんじゃないかなとも、ちょっと考えております。暫定案で運用して、もう少し続けてみないとわからないのかなと思っております。

私からは議題3、ワーキング・グループAの取り組みについて説明させていただきました。

以上です。

○市 資料3につきまして、何かございますでしょうか。

○利用者の会 運転停止をする場合、利用者の会のメール連絡等でお知らせしますということですが、別件ですけど、芦屋市に広報部がありますね、広報課か。車の上にスピーカーについて運行されてますよね。走ってるの見るんです。広報課でいろいろと広報することって、どういうことをされているんでしょうかね。部長、いかがですか。

○市 芦屋市、森田です。

最近で言いますと、例の台風21号、24号のときもそうです、緊急性、重大性、よほど緊急重大の場合の放送、災害時の避難情報が最近では主なものです。逆に言うと、軽微なといいますか、さほど緊急性、重要性のない通常のお知らせ程度のものを、広報車でもって呼びかけることはないです。選挙のときなどに投票を呼びかける、あれは選挙管理委員会の広報車を回してますので、広報は市内全域とは限りませんが、一定の地域の広がりを持った中での緊急性、重大性の高い情報を広報する際に用いているということがございます。

○利用者の会 利用者の会の友田です。

この対応策、検証できてないと言われてますけど、24号で、確かにここに書かれてる

ように、感覚的に藪田さんもよかったんじゃないかなということで、これはぜひとも今後も続けていただきたいなと思います。

御質問は、「赤になるよ」というのは、まだ利用者の会の、各加盟の家庭全員にはまだ行ってないと思っています。もちろん話はしてます。そこで問い合わせは、この台風のときに事前に、「何や赤ランプじゃないの、どうしたの」と、逆に市民からの、何で今赤なのとか、そういう問い合わせはなかったですか。電話問い合わせ。なければありがたいんですけど。

○市 一定数ありました。

○利用者の会 一定数。

○利用者の会 春木です。

一応まだ案となっておりますけど、ある程度見込めるかなというぐらいのものでも、利用者の会というか皆さんに、こういう目的でやりますと、「テストします」でもいいですけど、ちょっと流しといたほうがいいん違うかなという気はします。でないと、台風が来て、またかと心配される方もおられます。その辺、今後よろしくお願ひしたいなと思っています。

それともう一点、浜風町のことで。これは、いつごろまで止まる見込みですか。その見込みが余り書いてないからね、あれ見られても、まだ、まだ、まだ、までずっと。ある程度見込みを書いたほうが。

○市 ホームページでは、まだ見込みは書いていません。昨日補修が終わりまして、きょう試運転、この協議会の後、終わり次第、僕、現場へ行きまして。

○利用者の会 その辺で、はっきりしてるんやったら、まだしばらくお待ちくださいやなしに、いつ終わる見込みですと、はっきりした形で載せるべきや。

○市 実際載せたい部分もあったんですけど、試運転して、また止まる可能性もあったので。ある程度、ちょっと運転して、行けそうかなぐらいまでつかめたら書きやすいんですが、そういう部分がありましたので。まだ試運転すら一切してない状態ですので。申しわけございません。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

この大雨によるパイプライン被害軽減対策について、私たちのホームページにもこれを載せて、こういうときにはこういう状態で、こう動きますよと載せて、具体的にはここに書いてあるものを載せたいなと思っています。

この間の台風24号のときには、藪田課長から私のほうに連絡があって、皆さんに御連絡をお願いしますということで、議員の方3名、会員の方、会友の方、連絡員の方で、それぞれ4つグループがありましたので、全部に流しました。お二人から、わかりましたと、自分の責任入るところは、ちゃんと皆さん方に連絡しますということで、2つ来ました。

こういうのは、どんどんやっていったらいいと私は考えます。当然、パーフェクトではないです。この方には連絡が行かなかったとか、見なかった、いろんなのがあるんですが、その都度、やってみて初めてわかることなので、最初から100パーセントは無理なんで、徐々によくしていければいいと私は考えています。

この案が出たときに、ワーキング・グループではもう一つ案が出たんです。それは点検に物すごく大変な労力と時間がかかるだろう。そこに何かぽっとカメラを入れるような装置をしたら、非常に点検も労力かからないし、早くできるんじゃないかという案もそのときは出たんです。ただ、それは急に今できることではないので、もう少し検討をして、費用の問題もありますので、トライしたらどうか、どこかの点検口でという話もありました。それは2番目のアイデアとしては出てまして、とりあえずすぐできることはここに書いてあることなので、これからやっていこうと。

あとは、点検口の話はもう少し詰めて、ワーキング・グループで検討したらどうかということだったと私は理解しています。

○利用者の会 もう一つ、今、春木委員が言われましたこと、要するに林さん、本当にお忙しい中、ホームページのアップデートされまして、ありがたいと思います。言われてました、お立場はよく行政としてわかるんです。いつ直ると書くのかは、直らなかった場合にどうするかはよくわかります。

だから、やっぱり実際にとまってる方は、それをホームページで、いつ直るのかなと、これが一番知りたい根本の情報だと思うんです。原因よりもいつ直るのと。それが今はお立場上できないということでした。これは、今日のあれじゃなくて、今後長いこともたさないかん。ですから、めどを検討していただいて、復旧見込みはいつですと明確なる日にちを書いていただいて、できない場合はごめんなさいとか、そういうコンセンサスを持って、私どもパイプラインの利用しているこの地域全員の団体に了解をとっていくと。

だから、もちろんその日にちのギャランティーできない場合もありますよと、そうい

うことで皆さんにこれから10年、15年、続きます。15年先も直る日がなかったら、みんないららすると思うから、目標は書く。ただし、ギャランティーできない。けれども、かまへんよと、そういうコンセンサスを地域の住民にとっていくような体制づくりが、私はできたら皆さんに協力してもらって、やっていきたいなと思っていますけれども、市がそういう壁を乗り越えていただけるか、また御検討してください。

以上です。

○市 わかりました。復旧予定の日につきましては、書ける範囲で考えて、ちょっと書いていきたいなとは思っています。

先ほどありましたけど、3カ月かかったとか、そういうのがあります。市としてもいろんな御意見をいただいています。電話がかかってくる、ちょうど台風が土日に来たのが多くて、日曜日が止まっていて、この関係で月曜日に運転をとめているとなると、朝、月曜日に台風一過になって、ごみを捨てよう、あら、赤ランプやないかというので、苦情がいっぱい来ました。タイミングが、毎回日曜日に台風が来たのも悪かったんですが。

それもちょっとずつ、パイプラインメールシステムを使って、皆さんにこういう日はとまるのよとコンセンサスとって行って、少しでも長期間とまるのを防ぐ手だてを、これから利用者の会と一体となってやっていきたいと思っておりますので、御協力のほうお願いいたします。

次、4番、トラブル「ゼロ」化活動の経過報告で、資料4、山口さん、お願いします。

○利用者の会 今の問題、本当にいろいろあるんですが、利用者として何ができるのかを、これは私たちが責任を持ってやらないといけないことだなということで、いろんなワークもやりながら、こういう活動をやっていったらなというものを、これから御紹介します。

皆さん方のお手元にはパワーポイントとか、資料4を1つにまとめましたので、それでいいと思います。

背景です。私たちが原因で輸送管が詰まったり、いろんなことが今あります。特にことしの4月からは非常にふえたと私は認識してしまして、一体幾らかかったのか。去年は300万円です。今年はどうなのかということで、非常にお金がかかっているのは私の実感です。これらは私たち利用者ができることですので、私たち利用者がこれをゼロにするにはどうしたらいいのかを、本当に責任を持って考えないといけないというこ

とで、現在、利用者の会でもいろいろ話していますし、今後とも継続的にやっていかないといけない。これは、あしたできるかという、できません。非常に時間がかかることやと私自身は思っていますので、本当に根気強くやっていかないといけないと思っています。

それと同時に最近思うのは、やっぱり資源化です。パイプラインを詰まらせないのは大切なことですが、同時に、やはり資源化に関する考え方を植えつけていかないと。私もよくパイプラインを、今観察しているんですけど。

例えば、この間見たのはおもしろかったんですけど、高層には郵便ポストがあるんです。1階エントランスに100個とか200個ある。そこにチラシを入れるんです、いろんな人が。きょうも市の広報が入ってました。こういうのが入ってたんです。これはポストが山ほどありまして、効率がいいんです。この中にチラシを入れる人がいっぱいいるわけですよ。アルバイトか何か知りません。ただ、このまま、これだけ束がありますので、投入口に持って行って捨てよるんです。そのまま全部。ですから、やはり資源化を本当に考えていかないと私は思っております。

それでは、最近これ捨てられたものです。分厚い雑誌、フライパン、これは利用者の会で友田さんが頑張って、利用者の会の会議室の横に並べていただいて、中身が入ってるペットボトルから土、クッション、ビデオカメラ、スマホが最近捨てられている。これは本当に私たち利用者の問題です。

現状の問題としては、投入口で輸送管が詰まって、ごみが捨てられなくなっている事実が非常に多くなって。と同時に、捨てた本人は全然わかっておりません。自分は捨てられるわけです。そのために非常に時間と費用がかかっている。それも一切知りません。私が、このポスターを今回張って回ったんですね。それは何でかという、私自身がどこに投入口があって、どんな状態かも全部見たかったんです。全部投入口、ほとんど回りました。一番きれいだったのは緑西です。本当に整理されてました。すばらしいなと思う、見ただけでわかります。汚いところは本当に汚いです。その辺は如実にあらわれています。緑西は1回もトラブルってません。やはりちゃんとしてるなど、そういう見本を見せていただきました。

3番目、当然詰まってくると輸送管を傷めて、寿命がさらに短くなる。

最後に詰まったのを調査して、それをなくす作業は非常に劣悪な環境の中で作業をせざるを得ないと教えていただきました。林さんも非常に体重が減ったと聞いておりま

す。健康の問題まで、こういう問題がある。これを何とかしないといけないということで、目標としてはパイプラインの障害、そういうことを私たち自身が起こさない。

もう一つは、やはりごみの資源化に尽きると私は思っています。というのは、よく私も話すんですが、2年前に大阪に行きまして、大阪のごみの担当者と話したときに、山口さん、ごみはごみと呼んではいけません。大阪では資源と呼んでいます。ごみ焼却場とは呼んではいけません、発電所と言ってくださいと言われました。

きのう、実はテレビで、アメリカのそういう状況があったんです。ペンシルバニア州でした。それをビデオを撮っておけばよかったんですが、ちょっと撮るのを忘れて、余りにも見とれてました。アメリカで今、何が問題かという、以前、太田さんが御質問されたと思うんですけど、中国がごみを受け取らなくなったんです。だから、全部どこの国も自国の中で処理をしないと、特にプラスチックの問題です。

ペンシルバニアでどうするかということで、ずっとその処理があったんです。その中でびっくりしたのが生ごみの処理です。アメリカは1日100万トンやっただけ、生ごみが出る。その中で5%は生ごみを資源化しているんです。実際に資源化するプラントがありまして、生ごみを入れてずっとしたらジュースみたいになるんです。緑色でした。そのジュースは何かというとエネルギー資源なんです。物すごいエネルギーの効率の良いものになっていて、ちょっとだけ粒が出る。これは全部肥料として使えるということで、生ごみを資源化しているプラントがアメリカにあって、生ごみの5%は今アメリカはそうやって処理してるという話があって、すごいなと思って。

私は、生ごみは燃やすものと頭の中にあるんですけど、きのうから変わりました。生ごみも資源化できる。ということで、ほとんど資源化できるなというのが実感。それで、私たちも資源化の促進をせないかんだらうというのが、長期的には考えないといけないと思っています。

具体的に5つのアクションを考えています。

1つは、どこの町がどうのうごうのじゃなくて、各投入口で対策を考えないといけないと考える。そのためのエクセルでのツールをつくりました。たまたまそこを切り取って張っています。これは浅田さんから提案されて、以前、これはすばらしい考え方だと、その中に、ここに投入番号、地名、その下にトラブル件数です。何回、去年起きたか、去年のデータです。8039は1回起きています。4万5,000円かかっている。下の投入口の広さは1.5平米あるということで、今は全部、今日いただいた資料をもと

に入力できます。そうすると投入口別に全部これが出てきますので、これを見ながらこういうふうにしなないといけないな、お金かかってるな、件数多いなというのが出てきます。こういうことをまず把握しよう、現状を把握しないと何もできません。

2番目、利用者の会でそれを毎月報告したいと思っています。こういうふうに、現状はどうなっているかをまず把握するのがアクションプランの1です。

2番目、アクションプランの2。やはり市と私たちのコミュニケーション、さっきもいっぱい出ましたけども、メールシステムは当然これを活用して、まだ完璧ではありませんけどやっぺいこう。

そして、今回も問題になったんですが、中間報告がないんです。止まりますよで、その後どうなるとんねや。さっきも、いつごろ直るんだという情報が欲しいということだったんですけども、その辺も含めて、発生時点と中間時点と終了の3つの情報をきちんと市からいただくなり、私たちが聞いてやっていかないかないかなど。物すごくフラストレーションたまるんです。とまるのはいいんです。だけど、いつまでも待つのはや。さっきもおっしゃったように、3カ月間も何の情報もなかったら、非常にそこはフラストレーションたまりますので、そこは今回それを糧にやっぺいこう。

それから、ホームページもつくりかえました。これが今の私たちのホームページです。色はちょっと変えたいんですけど、私の力では変えられなくて。こういうふうに今は変わっています。私の作業はどうしてるかといったら、役に立つものをつくろうということで、今、毎夜、市のトラブル情報、恐らく林さんがつくっておられると思いますが、夜、作業が終わってやっておられる。それをアップロードする。私は大体8時から10時の間に見て、その日の夜の状況を書いています。朝になったら朝の情報を、今日も入れましたけど、9時までには必ず市の情報を見て入れていますので、パイプラインの運転状況は必ず日2回、市の情報を見て更新する。

毎日なぜしているかといいましたら、林さんが、毎日PDFにある地図が日付で変わっているんです。ですから毎日私たちは更新しないとリンクが全部消えてしまうんです、地図と。だから必ず毎日、市の新しい地図情報と一緒に更新しています。こういう意味で、今まで私はサボってましたけども、ホームページも活性化せないかんということで、コミュニケーションはこういう形をしようと思っています。

これは、10月12日朝の状況です。こういうふうに必ず情報がわかるように今はしています。皆さん方も見てください。

今日の朝も変わっていました。あれが仮復旧じゃなくて復旧地域になってました。そういうのを全部、最新のデータをホームページに今は上げております。ただ、文言に関しては、少しいろんな意見も私に来ていまして、それはワーキング・グループで詰めたいと思っています。

3番目、啓蒙活動です。啓蒙活動を、これはしないといけないということで、かなり細かい啓蒙活動。

1つは、ポスターをつくって投入口に、これを今張っております。私はしつこいですから、張った後にじっと隠れて、皆さんが見てるかどうかをチェックしています。ほとんどの人は見てません、残念ながら。私が、ここ張ってるんですけど、わざわざその横で言うんですが、見てくれるだろうと思うんですけど、なかなか見てないなというのはあります。実感として感じています。

と同時に、これを各住戸に配布しようということで、今チェックを最終的にしていただいております。10ページ以上になります。こういうふうには、現状で去年幾らお金がかかったからスタートして、なぜパイプラインが詰まるのかを1個1個、布を入れた場合、草木を入れた場合と書いています。こういうことで、これを配ろうと今しております。

当然配っただけではだめで、説明会をしないといけない。この説明会も、非常に悩んでいまして、集会所に集めて説明をしても、その人たちは、実際は説明要らないんです。よく知ってはる人が来るんです。興味がない方は来ないので、その辺をどうしたらいいのかということで、今いろいろ考えております。

去年は皆さんの自治会とか管理組合へ行って、説明をさせていただいたんです。あれもきちっと末端まで情報が行くかということ、行くところ行かないところがあるなどわかりましたので、これはもう少し考える。

各それぞれの組織に、広報誌にいろんなことを、原稿は私たちのほうでつくって、入れていただくようなこともしようというのが4番目です。

勉強会の実施で、この間のごみの家庭用のマニュアルを藪田課長から御説明していただいた、そういうことをやった。

不当投棄、これも現物展示を透明な袋に入れて1週間以上、2週間程度やってみました。できたら事例発表もしてほしいなと思っています。例えば事例発表で、私はぜひ、またしていただきたいと思うのは、例えば浅田さんところは集団回収を月2回から毎週

やっておられると聞いております。そういうお話です。それを聞いて、私のところも交渉しようと思っておりますので、そういう事例を発表していきたい。こういう細かい啓蒙活動を少し慎重に、丁寧にやっていきたいと思っております。

これがポスターです。こういうふうにポスターを張っております。ただ、上がないところがありまして、それはその人に渡して、どこか張ってくださいとか、いろいろ言っております。

これが、先ほどのこういうやつですね。これも作っております。

アクションプランの4。私たちが何か各自治会、管理組合に対してサポートできないかということで、規約とか細則とかマナー集にパイプラインのマナーのことを入れてほしいなということで、これの原稿づくりを今やっているところです。1つのたたき台をつくって、皆さん方にお配りして、来年の総会ではぜひともお願いしたいという活動をやっていこうと思います。

それから、外部投入者がいるかもしれないということで、私もパイプラインを今ずっと回ってますので、ここだったら車をぱっとつけられて、外部から来ることもあるなとか、いろいろわかってきましたので、これはワーキング・グループで投入口の鍵を交換するなり、何かほかの方法で対策も、ハード的にしないといけない投入口も出てくるかなと思っておりますので、できたら安い費用で、1個でもどこかとりあえずやってみて、そこで問題なければ、そういうことの可能性がある投入口は少しは広げていたらどうかと考えています。

最後に、例の資源化の話です。これは集団回収の話を、このページの最後に入れております。ここは環境施設課の写真に変えました。こういう形で、恐らく資源化と集団回収はなかなか結びつかない方もおられると思います。資源化の1つの大きな手段として、集団回収が私たちは対策としてとれると思います。ですから、当然集団回収は、ほとんどの利用者の会はやってると思いますけど、知らない方がいっぱいおられます。

特に、きょうの朝でもごみを見てたら、紙をそのままどんどん投入口に捨てていますので、これはごみじゃなくて資源だよと、そういうことを含めて啓蒙活動をすると同時に、こういう活動をやっていきたいなと思っております。これが5番目です。

ですから、これは今年とか来年じゃなくて、恐らく10年単位、20年単位の話だと思いますし、市にもアメリカでやっているプラントがあれば、そういう情報をお知らせして、日本でどこかやってると思います。

浅田さん御存じないですか、生ごみをエネルギーに変えて。

○傍聴者 生ごみを変えてるのは甲府市と、兵庫県の北のほう、和田山か、あのあたりもやっています。

○利用者の会 その辺の情報もお知らせして、最終的にはごみと言っちゃだめよと、資源だよと、長い時間がかかる運動もあると思っています。こういうことを5つのプランとしてまとめていったという状況です。

何か御質問があれば。

できたら、12月ぐらいにはこれを配布したい。来年早々、説明会を開こうと思っております。そこで、また皆さんの意見いっぱい出るとは思います。

○市 ありがとうございます。続きまして5番、報告事項としまして、パイプライン施設のあり方に係る市民意見の募集で、パブリックコメントをやったので、それについて藪田から説明させていただきます。

○市 藪田です。

ちょっと話が戻るんですけど、先ほどの山口さんの説明、集団回収を推進するとか資源化を促進していく、非常に我々も進めたいことではあります。一緒にやっていけたらいいなと思いますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

議題のその他で、先日までしておりました市民意見募集、パイプラインの報告をさせていただきます。

8月15日から9月14日という期間で意見募集を行っておりました。その期間中にお寄せいただいた方が、60名ほどございました。現在、まだ意見集約中ですので、まだこの場でどういう意見があったかということは報告できませんが、11月中には、芦屋浜・南芦屋浜まちづくり調査特別委員会などで御報告する予定にしております。途中経過ですが、報告とさせていただきます。

○市 これにつきまして、何かございますでしょうか。

それでは、議題は全て終了いたしました。

6番、今後の協議会のスケジュールで、12月は議会があるんですけども、12月22日という形で考えているんですけど、よろしいでしょうか。

それでは、第22回ゴミパイプライン協議会は12月22日で、同じ時間、この場所で開催させていただきます。

○利用者の会 春木です。

その他で、昨年の決算というか、この間の数字はオープンですか。オープンになるんやね、パイプラインの維持管理費。これまでパイプラインにかかわる維持管理費で、事業費だとか委託費だとか工事請負費やとかいろいろ分けてやってまして、それと事業費についても電気代と消耗品、その他で分けてますし、工事請負費についても輸送管の修理やとかいろいろ分けたデータ、これまで委員長にくまなくまとめていただいていますし、あの辺また、今度のワーキングAでぜひお願いしたいんですね。

というのは、せっかくこれまで山口委員長がずっと細かくまとめていただいたやつ、あれは非常にいいデータなんです。例えば、この間見せていただいたんで、わかる範囲であれしますと、事業費でも、この利用者の会が活動する前の3年間と昨年と比べたら1,800万円ぐらい下がってるんです。一方では、活動前の3年間と比べたら、人件費にしても消耗品などについても倍以上になってるんです。

だから、表面的に見ただけで言うと、せっかくコストダウンしたやつを、私らは輸送管やとかその辺にかけたらええなと思ってたやつが、全部それ以外で消えてしまってるような数字になってるんです。その辺についても、やっぱり利用者の会とも共有して、運命共同体と言ったらおかしいですけども、結んで、できる限りその辺をオープンにさせていただいて、その上で今後どうするかを議論する必要があると思っています。その辺、次のワーキングAのときにその辺の過去のデータと合わせて、2016年、2017年がどういう推移を示してるかをぜひお願いしたいと思います。

ただ、昨年にしても1カ月とまったとか、いろんな要素はありますが、それらを含めて、その辺がどうなってるかを知りたいなと思ってます。市の考えで、今後の費用をまとめていただいていますし、あれの20年後までの平均が、たしか2億3,500万円だと思います。それからすると昨年在りほぼ同程度になっていますので、それらを含めて、今後どないするかという議論を、専門のプロもおられますので、議論をお願いしたいと思います。

以上です。

○市 それでは、今回のゴミパイプライン協議会を終わらせていただきます。

ありがとうございました。